山行報告書　　　　　山行管理部

サロン　　　富田林寺内町のひなめぐり　　3月14日

CL 森下 SL 宇野　参加11名

今月のサロンは、寺内町として460年の歴史を持ち、今も江戸時代の建物と町並を色濃く残す、富田林寺内町をめぐりました。残念な事に朝から雨、それでも11人の仲間が、集まってくれました。担当としてこれ程嬉しい事はありません。でも、残念な事がもう一つあったのです。それぞれの旧家に伝わるひな人形の展示と、ひな祭りに関連する様々なイベントが、今流行の新型コロナウイルスのため、全て中止となっていたのです。それでも何軒かでひな壇が飾られ、楽しむ事が出来ました。そしてこの町の中心である興生寺も見学し、狩野派の絵師による襖絵を見せてもらい、僅かでもその幽玄の世界に触れる事が出来ました。

唯一公開されている旧杉山家では、明星派歌人石上露子（明治15年～昭和34年）の遺品をはじめ、いろいろな資料の展示品を見学し、たまたま名門の旧家に生まれたばかりに、その才能を充分に発揮する機会を制約されたり、意に染まぬ結婚生活を強いられたりと、不幸な人生を歩んだ事等も知りました。　又この旧杉山家の近くには仲村家（非公開）があり、その説明板によると、幕末の志士であり伊藤博文等、明治時代の多くの指導者を教育したあの吉田松陰が、24歳の頃この仲村家に長逗留をして、活動の拠点にしたとか。ちょっとだけ勉強したつもりになったりして、小雨になった江戸時代の町並を、ゆるゆると楽しみました。

（森下　記）

有志山行　　　箕面山～六個山　　5月17日　　L 三嶋　　参加1名

自宅7:05発 ～ 7:30桜広場 ～ 8:15箕面山 ～8:25三国峠 ～ 9:15青空展望台 ～ 9:30六個山 ～ 9:45ハート広場 ～ 10:13望海の丘 ～ 10:38龍安寺 ～ 11:10自宅

滝道には朝の散歩コースを歩く人が、ちらほら見える。「コロナのない時期」でのこの時間帯と比べ、これが多いのか少ないのかは、よく分からない。唐人戻り岩からやや急登が続き、箕面山を過ぎ10分程歩くと三国峠に着く。ここから真北に見える山が以前から気になっていたが、今回地図で確かめてみると鉢伏山(604m)であり、その奥に明田尾山(620m)が隠れているのだと思う。また、三国峠の標識(高さ30cm程度の、低いがしっかりしたもの）を見て、今回初めて気付いたことがある。裏面に「豊中労山」の文字が・・・。似たような形の標識が他にも見られ、どうやらこの箕面一帯の登山道の整備に、一役かっているようだ。

「ようらく台園地」方面への分岐をやや過ぎたところは、一気に眺望が開け、

晴れていれば生駒山系と金剛山系、その間に二丈山がよく見えるはず。そこから先はゴルフ場の端に沿って緩やかに下り、急登の六個山となる。終盤は「望海の丘」（海は殆ど見えないが）に立寄り龍安寺へ。

“コロナ”により、公共交通機関を使った山行は控えているが、昨年度の公開山行（10 月の箕面山～六個山・1 月の千代山～松尾山（六個山））を機に、まさに「地元の山」に“目覚めた”気がしている。交通費 0 円で行ける山であり、体力維持にもちょうど良い。自宅へのバスの本数は少なく、交通の便はあまりよくないと思っているが、ある程度自然環境には恵まれた場所で暮らしているのだと、改めて感じている。

（三嶋　記）